

プロアスリート

ヤマケン

×

エース栗原

スペシャル対談

巻頭
特集

世界に挑み、スポーツを通して 地域に幸せを伝えたい!

世界最高峰の山岳に繰り出し、およそ170kmの険しい道を30時間もの間、夜通し進むヤマケン。雨にも負けず風にも負けず、自転車をこぎ、走り続けるエース栗原。「過酷なレースほど楽しい」。揃って清々しい笑顔で言う。拠点を置く韮崎と北杜の地域をスポーツで盛り上げたいと情熱を燃やす二人。プロに転身し、新しい物語を紡ぎ続ける彼等に地元から魂を込めてエールを贈ろう!

地域密着型プロアスリート エース栗原

栗原正明 (31)

「明日やろうは、バカ野郎だ!」

東京都出身、北杜市在住。国士舘大学在学時にトライアスロン(水泳・自転車競技・長距離走)とデュアスロン(長距離走・自転車競技・長距離走)を始める。大学院卒業後、甲斐市の私立高校の体育教諭として山梨県に移住。3年後、プロアスリートとして独立。デュアスロンでは2度の日本チャンピオンに輝き、トライアスロンでは最高峰の舞台であるハワイのアイアンマン世界選手権に出場。山梨を拠点に世界で活躍しながら、スポーツの持つ魅力を地域に浸透させ、地域の持つ魅力をスポーツ分野に発信している地域密着型プロアスリート。

プロマウンテンアスリート ヤマケン

山本健一 (39)

「100マイルを野生動物のように進みたい」

韮崎市出身、在住。韮崎高校山岳部を経て、信州大学ではモーグル選手として活躍。2004年にトレイルランを始める。2012年には国内で初めて開催された「ウルトラトレイル・マウントフジ」で日本人最高の3位に入賞、フランス「グランレイド・デ・ピレネー」では日本人初の優勝という快挙を果たす。峡北で公立高校の教師をしながら2016年には「アンドラ・ウルトラトレイル」準優勝、2018年には「ウルトラツール・モンテローザ」準優勝と100マイルレースで国際的にその名を知らしめてきた。この3月に17年間の教員生活を離れ、プロアスリートに転身。韮崎市をトレーニング拠点とし、2019年5月より北欧アウトドアブランドを取り扱うフルマークスの契約アスリートとして世界遠征にチャレンジする。